

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年12月9日(木)

号 外

## ◇ 校内マラソン大会 力走！ 超新記録！ よもやま話

快晴、無風、最適気温。最高のコンディションで開催できた校内マラソン大会。全員が最後まで諦めずに走り抜き、2021年を締めくくる最高の行事となった。

今年の特徴は、大きな差が開かなかったことだ。これは、長距離走が苦手な子が本当によく頑張ったことを表している。まさに、力の限りに走り抜いた結果だ。

コロナ禍の中での目に見えない学校の最大の懸念は、子供たちの運動不足による体力の低下であることを学校保健委員会講師の湯浅先生からお聞きしたばかり。

そうすると、低調な記録も予想されたが、結果は全くの逆。二つの新記録が生まれる高レベルの大会、そうした中で差が出なかったのである。この結果こそ、子供たちが力の限りに走り切った事実を表している。

大切なのは、諦めないこと。全児童が貫けたことを評価したい。

今回の号外は、新記録誕生をいち早くお伝えしたいという思いでの発行である。

### おめでとう 新記録

★ 1年生 男子の部 和出悠吾さん (H27年 (6年前) の記録を更新)

★ 5年生 男子の部 中根康貴さん (H22年 (11年前) の記録を更新)

#### <悠吾さんの走り>

スタート直後は、2年生の健さんに続く。トラックを1周走り、東門を抜けて校外の外周コースへ。じわりじわりと追い上げ、最後は健さんと並走。

2年の健さんは運動が大好きで長距離も得意。校内に戻ってきた際、健さんとの並走だけで驚いた。並走が続き、最後は悠吾さんが競り勝ったが、健さんとの競り合いが新記録を生んだといえる。



そして健さん。学年の1位に輝いたとはいえ、本当に悔しそう。でも、いいのだ。この悔しさを味わう経験が、間違いなく次につながっていく。

## <康貴さんの走り>



号砲直前の表情。気合が入っているのが分かる。昨年も新記録を更新するなど長距離が得意な康貴さんだが、それ以上にこの大会にかけている理由がある。

詳細は、10/8 発行・校長だより 61号➡  
「岡崎市小学校陸上大会 で 見えたもの」



レーススタート直後は自分のペースを守り、2番手につけて外周コースへ。この外周コース、登り下りの抑揚が激しいばかりか距離も長い。なかなかの過酷なコースである。



最大の難所、西門の長い登りを終え、折り返しの校舎北側に姿を見せた際は、2位以下を大きく離れていた。



校内に戻ってきた際は断トツで優勝は確定だ。けれども、ここから2段階ぐらいギアがあがる。

力は残っていなかったはずだが、家族が見守る中、あとは気力である。

結果は、5年生の新記録ばかりか、学校に残る最古の6年生の学校記録(H20)までも更新する超新記録であった。

念のためにコース変更の有無を調べたが、H20年以降はコースが変更されていないことも確認できた。

来年の「岡崎市陸上大会」が、本当に楽しみである。

その他、4年生では大デッドヒートレースが展開された。

先頭の今井奏太さん、峰澤響斗さん、冨田千陽さんの3名による最後のトラック勝負に持ち込まれる中、最後は今井奏太さんが抜け出した。ラストスパートは康貴さんにも勝るとも及ばない走り。さすがレース前に、康貴さんがもつ新記録をねらっていただけのことはある。

そしてレースには敗れたが、響斗さん、千陽さんの表情は清々しく、持てる力をすべて出し切ったことが伝わってきた。

全校49名の児童の学校であるが、学校に足を運んでくださったご家族の皆さんの総数はそれ以上。本当にありがたい。その姿があればこそその児童の頑張りであった。そして、PTA役員の皆さんの児童への飲み物のふるまいに、感謝。